

あえて…「体育科 50 年」を見る

学校長 森脇 忠之

体育科創設前の昭和 34 年、広大な敷地面積を誇るここ赤土の嬉野台地に教育環境の整った白亜の新校舎が完成しました。「すべての運動部の試合が同時開催できる環境の整った高等学校」をコンセプトにし、竣工式では、時の阪本勝 兵庫県知事より、『真理は赤土から生ず』と訓辞を頂戴いたしました。これは、この素晴らしい教育環境の学舎から「人としての基礎基本を身につけ、明日の社会を担う人材の育成」を期待されたものでした。昭和 39 年、東京オリンピックが開催され、その熱が冷めない翌年の昭和 40 年全国で三番目に、兵庫県下ではじめて「将来の体育・スポーツの指導者を育成する」目的で本校に体育科が創設されました。

昭和、平成という激動の時代のなかで、体育科存続の是非や幾多の困難に直面しながらも、これを克服し、発展してきたのも、それぞれの時代をひたむきに精一杯生き抜いてきた卒業生とそれを支えていただいた諸先生方のご尽力の賜物であることをわれわれは忘れてはなりません。

体育科の創設時は、まさしく、前途々々、志し高く、ここ嬉野の地に体育・スポーツの強者が集い、切磋琢磨しました。

体育科一回生藤本泰三氏は、全国高校総体陸上競技において 100m、200m 二種目を二連覇されるという偉業を達成されました。その陸上競技部は着実に成果をあげられ、昭和 52 年には近畿総合優勝、のちには 400mH、110mH、400m リレーで全国優勝をしました。400m リレーや 1600m リレーでは「4K の社」、「マイルの社」とも呼ばれ、「陸上の社」として名を轟かせました。体操競技部は、昭和 40 年代、インターハイ・国体の出場を重ね、バレー部においては、昭和 48 年には部員一人になりながらも、49 年入学生が三年生の時には、インターハイに初出場をしました。昭和 62 年には春高バレーで全国準優勝をするなど、春高、インターハイの常連校になりました。平成 16 年の春、創部 55 年目にして第 76 回選抜高校野球甲子園大会に悲願の初出場を果たした野球部は、快進撃を続け、二度の延長戦を制し、ベスト 4 進出を果たしました。加東市合併を間近に控えるなか、連日バス 110 台を仕立てた町あげの大応援団は「甲子園球場が地響きした選抜大会」と未だに高校野球連盟や甲子園球場の関係者の中では語りぐさとなっています。

近年では、バドミントン部や柔道部も地道な努力で着々と成果をあげ、インターハイに出場しています。言うまでもなく体育科生だけの力でできたわけではありません。当然、普通科や生活科学科生の頑張りと共にある結果です。

また体育科躍進のターニングポイントになったのが、昭和 63 年「光る汗 かがやく瞳 いま青春」をスローガンに兵庫県で開催された全国高校総体でした。開会式のマスゲームを本校体育科一年生が担当し、県内高校生の模範となり、素晴らしい演技で開会式に花を添えてくれました。体育科生の意識の高さが関係者から承認された時でした。

施設面をみますと、昭和 40 年代には、トレーニングセンターと寄宿舎（東雲寮）、体育館、25m プール、そして、サッカー場とソフトボール場が次々と完成、49 年には、陸上競技場が日本陸上競技連盟第三種公認をうけ、翌年、柔剣道場それぞれ二面とれる新格技場が完成し、目的とする「将来の体育・スポーツの指導者」を育成する盤石の環境がここに整いました。以降、平成 6 年 50m 公認プール、平成 15 年現体育館、平成 18 年新野球場が完成。平成 27 年度、柔道場の畠は、2020 年の東京オリンピック仕様になりました。

創設から半世紀が過ぎ、卒業生は 2,000 名を数え、多くの優秀な指導者や教員を全国に輩出してきました。教員をはじめとする教育機関に携わっているものは、すでに 200 名を超えていました。「社会に貢献すべく体育・ス

ポーツの指導者育成」を柱とする教育理念が脈々と受け継がれている証でもあります。

これから約50年に向けてさらに飛躍するために、われわれが背負っていく使命とは何かを再確認し、「チーム社」として、体育科を持つ全国の高校の模範となるよう精進しなければなりません。

☆平成30年度入学式・東雲寮入寮式

4月9日（月）平成30年度 社高等学校入学式および東雲寮入寮式が行われました。体育科1年生40名は、新しい制服に身を包み、少し緊張した様子もありましたが、堂々と入学式を終えることができました。また、今年度は30名の生徒が東雲寮に入寮しました。早く学校生活や寮生活に慣れ、社高校体育科の一員として大いに活躍してくれることを期待します。入学式・入寮式の様子は以下の通りです。



☆部活動 今年度の目標

＜陸上競技部＞ 主将：成松 遼

全国制覇!!

＜柔道部＞ 主将：本田 凌万

団体インターハイ出場・個人インターハイ優勝



＜バドミントン部＞ 主将：高橋 正樹

全国大会で三冠を取る



＜バレーボール部＞ 主将：藤井 侃

全国大会出場。全国ベスト8に入る





＜サッカーチーム＞

主将：勝岡 慶成

全国大会出場



＜野球部＞

主将：岡本 悠雅

甲子園出場!!

☆今後の試合予定

陸上競技

5月12日（土）～13日（日） 東播インターハイ（加古川陸上競技場）
5月25日（金）～27日（日） 県インターハイ（ユニバー記念陸上競技場）

サッカー

5月4日 2回戦 VS 県農（社）
5月12日 3回戦（播磨光都） 5月26日 4回戦（播磨光都） 5月27日 5回戦（播磨光都）

バドミントン

5月25・26・27日 県総体（25日・27日：神戸市中央体育館）
(26日：西宮中央体育館)

柔道

5月5日（土） 兵庫県ジュニア予選（県立武道館）

☆試合・大会結果

野球

平成30年度春季播淡地区高等学校野球大会

4月 4日 VS 松陽 6-0
4月 6日 VS 津名 2-9

平成30年春季兵庫県高等学校野球大会

4月22日 VS 三田学園 1-2

サッカー

東播リーグ戦 1部

第8節 VS 小野 2-2
第9節 VS 明石商業 2-0
第10節 VS 明石城西 4-1
第11節 VS 明石西 3-0

東播リーグ戦 2部

第8節 VS 高砂 1-2
第10節 VS 東播磨 2-2
第11節 VS 明石城西 1-0

バレー・ボーラー

4月14・15日 東播春季リーグ戦 1部 優勝 優秀選手賞：志水 鳩太

社 VS 小野 2-1
社 VS 明石商業 2-0
社 VS 東播工業 2-1

陸上競技

柔道

兵庫リレーカーニバル（ユニバー記念陸上競技場）

4月21・22日 東播大会 男子団体 準優勝

4×400mR 2位

60kg級	長谷川晃己	優勝
66kg級	佐藤 竜太	2位
81kg級	本田 凌万	優勝
81kg級	長谷部 龍	3位
90kg級	山本 義生	優勝
100kg級	井関 篤司	優勝
100kg級	長谷川慶斗	3位

バドミントン

4月29・30日 県総体東播予選 男子団体 準優勝

ダブルス 優勝 香山・高橋組
準優勝 竹田・中田組



☆5月の予定

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
	尿検査①		建国記念日	みどりの日	こどもの日	
7	8	9	10	11	12	13
	45分×6h 眼科検診	カウンセリング	考査1週間前			
14	15	16	17	18	19	20
		尿検査②	中間考査①	中間考査②	中間考査③ PTA総会	
21	22	23	24	25	26	27
中間考査④	スポーツテスト	カウンセリング 生徒総会	歯科検診	19日代休日		
28	29	30	31			
	スポーツテスト 予備日		耳鼻科検診			